

THREEUP

左右自動首振りDCリビングファン

LF-T2652

取扱説明書

目次

はじめに

安全上のご注意	1~3
パッケージ内容	4
仕様	4
各部のなまえ	5

ご使用の前に

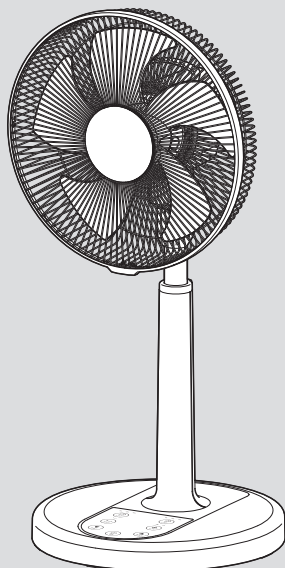
組み立てる	6~7
リモコンについて	8
設置について	8

ご使用方法

運転する	9
停止する	9
風量を切り替える	10
高さを調節する	10
おやすみモードを使う	11
リズムモードを使う	12
オフタイマーを使う	13
オンタイマーを使う	13~14
首振り運転をする	15

点検・サービス

お手入れと保管方法	16~17
長期使用製品についてのご注意	17
故障かな?と思ったら	18
保証・サービス	裏表紙



本製品は日本国内専用です。



このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

はじめに

安全上のご注意

火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	-----------------------------------	---	---------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

   	この図記号は「禁止」されている内容です。	 	この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。火災、感電、ケガの原因になります。分解や修理をしないでください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気の多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。本体やリモコンを水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。感電、火災、故障の原因になります。



禁止

お子様だけで使わせないでください。感電やケガ、事故の原因になります。

屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。

絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

本体の変形によるショート、発火の原因になります。



禁止

ストーブやガスコンロなどの燃焼器具に向けて送風しないでください。火災ややけどの原因になります。

引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。また、本体に向けて吹きかけないでください。爆発や火災の原因になります。

風を長時間、直接身体にあてないでください。特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方は注意してください。健康を害する原因になります。

本体のすき間や可動部に、ピンや針金など異物を入れないでください。感電や故障の原因になります。

乳幼児の手の届くところにボタン電池を置かないでください。誤飲する原因になります。万一、誤飲した場合はすぐに医師にご相談ください。

ボタン電池を火の中に入れたり、水に濡らしたりしないでください。また、分解や加熱をしないでください。破裂や発熱の原因になります。

警告

電源は必ず家庭用100V電源で使用してください。

異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源プラグや電源コードを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 電源コードや電源プラグを乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだり、損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- コンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードや電源プラグが破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

ボタン電池を保管、廃棄する際は、電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼ってください。

- 複数のボタン電池が重なり合うと、一方のボタン電池が導線として動き、電極がショートして破裂や発熱を引き起こし、火災につながるおそれがあります。
- 廃棄する際は、お住いの市町村の指示に従って廃棄してください。
- ヘアピンやコインなどの導電物と一緒に保管したり、持ち運んだりしないでください。

長時間リモコンを使用しないときは、ボタン電池をリモコンから取り出してください。

- 消耗したボタン電池を入れたままにしておく、液漏れや腐食により、リモコンが故障する原因になります。
- 液漏れを起こした場合は、液に触れないように注意し、すぐに電池を取り出してください。
- 漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。万一、液が目に入った場合はすぐに多量の水で洗い流し、医師にご相談ください。

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。

誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

使用しない場合は、安全な場所に保管してください。

落下、衝撃、水濡れをする場所は避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音がする。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



必ず守る



必ず守る

⚠ 注意

本製品は家庭用です。業務用として使用しないでください。

故障の原因になります。

前/後ろガードや羽根、台座を取り外した状態で運転しないでください。ケガや事故、故障の原因になります。

運転中は本体を移動させないでください。

移動する際は運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてください。

自動首振り機能は、手動で首振りの角度を変更しないでください。

故障の原因になります。

製品の上に物を置いたり、踏み台にしたり、腰掛けたりしないでください。

転倒、破損によるケガや事故の原因になります。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

落下、転倒などにより、ケガや事故、故障の原因になります。

送風口や吸気口をふさいだり、本体を覆ったりしないでください。

衣類やカーテンなどで送風口や吸気口がふさがれたり本体が覆われたりすると、過熱による本体の変形、発火の原因になります。

衣類の真下やカーテンの近く、本体に衣類をかけて使用しないでください。吸い込みによる故障や事故の原因になります。

薬品などの周囲では使用しないでください。

本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などに雑音が入る原因になります。

犬や猫などのペット用として使わないでください。

ペットが本体や電源コードを傷つけ、漏電や故障の原因になります。

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

ボタン電池を素手で取り扱わないでください。

- 電極 (+/-) を素手で同時に触ると、一気に放電して、消耗を早める原因になります。
- 汗や手油などが付着すると、接触不良の原因になります。



禁止

本製品の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。

ボタン電池は電極 (+/-) の向きに十分注意して装着してください。

正常に動作しない原因や、リモコンの故障の原因になります。



必ず守る

運転(羽根の回転)中は、ガードの内側に髪の毛などが巻き込まれないように十分に注意してください。

また、ガードの内側に指などを入れないでください。

ケガや故障の原因になります。



接触禁止



禁止

パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部 品 名	個数	部 品 名	個数
本体一式	1	リモコン (CR2025電池内蔵)	1
取扱説明書 (保証書付き) 本書	1	リモコンホルダー	1
台座	1	羽根	1
前ガード	1	後ろガード	1

仕様

本体サイズ	幅34.7×奥行33×高さ68.3～86.7 cm	重量	約2.3 kg
材質	ABS、PP	電源	AC100 V 50/60 Hz
消費電力	24 W	風量設定	8段階
首振り	左右90° (自動)、上下30° (手動)	オン・オフタイマー設定	1～7時間 (1時間単位)
機能	リズムモード、おやすみモード	1時間あたりの電気代	約0.74円
自動オフタイマー	10時間	コード長	約1.5 m

※ 製品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

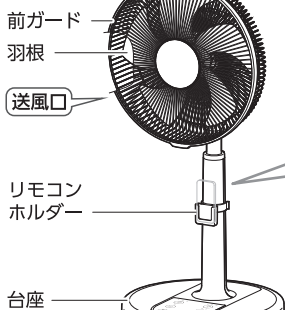
※ 1時間あたりの電気代は、単価31円/kWh (税込) で計算した際の目安となります。

はじめに

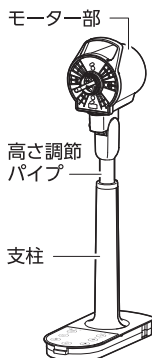
各部のなまえ

■ 本体

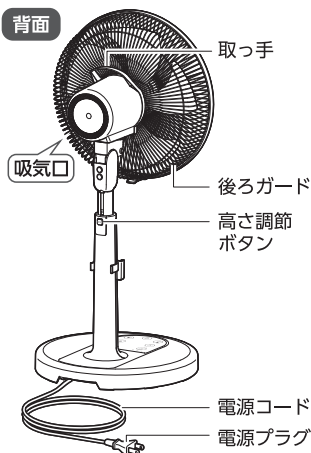
正面



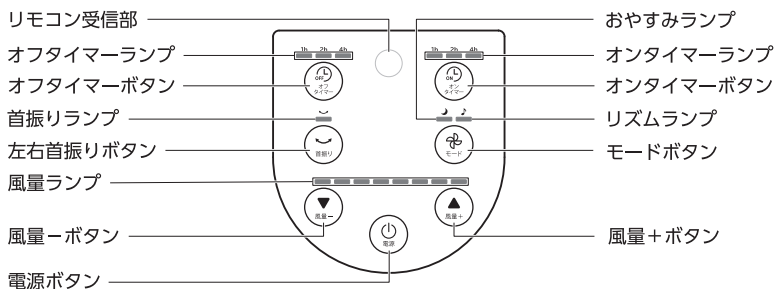
スタンド



背面

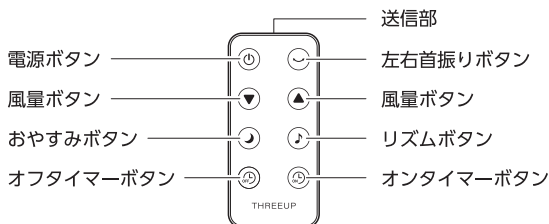


操作部



■ 付属品

● リモコン

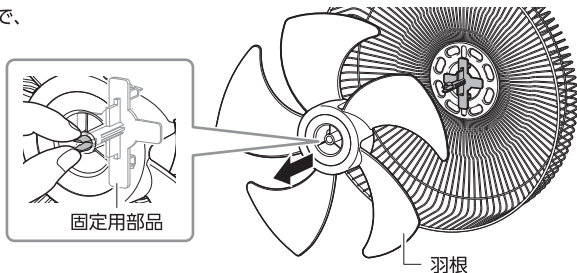


ご使用の前に

組み立てる

■ 梱包用部材を取り外す

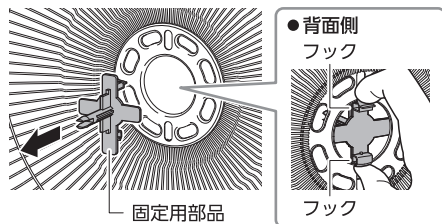
- ① 固定用部品の先端をつまんで、羽根を取り外します。



- ② 背面側から固定用部品のフックを押さえ、後ろガードから取り外します。

メモ

固定用部品は、収納時以外使用しません。



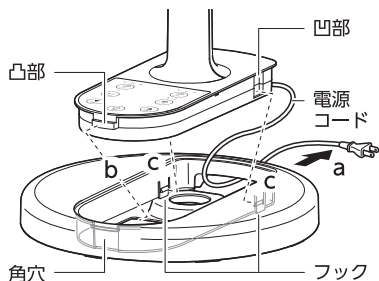
■ 本体を組み立てる

- ① スタンドを台座に取り付けます。

- 電源コードを、台座の後ろ側に通してください。
- スタンドの凸部を台座の角穴に引っ掛けてください。
- スタンドを台座に押し込み、フック (左右2か所) を凹部に「カチッ」と音がするまでしっかりはめ込んでください。

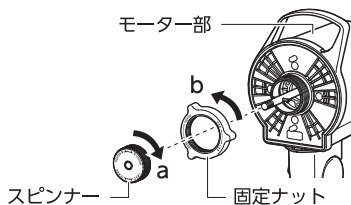
注意

電源コードを台座に挟まないように組み立ててください。



- ② スピンナーと固定ナットをモーター部から取り外します。

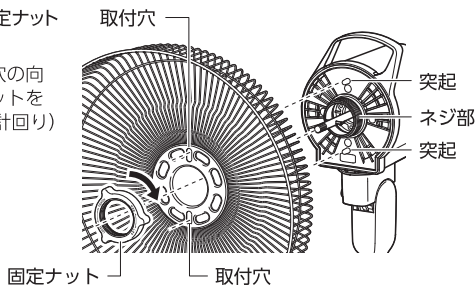
- スピナーを「ゆるむ」の方向 (時計回り) に回して取り外してください。
- 固定ナットを「ゆるむ」の方向 (反時計回り) に回して取り外してください。



ご使用の前に

- ③ 後ろガードをモーター部に取り付け、固定ナットで固定します。

モーター部の突起と後ろガードの取付穴の向きをあわせて取り付け、固定ナットをネジ部に取り付け、「しめる」の方向（時計回り）にしっかりと締め付けてください。

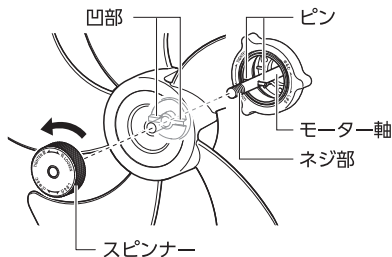


- ④ 羽根をモーター軸に取り付け、スピナーで固定します。

- 羽根の凹部とモーター軸のピンの位置をあわせて取り付け、奥まで差し込んでください。
- スピナーをモーター軸のネジ部に取り付け、「しめる」の方向にしっかりと締め付けてください。

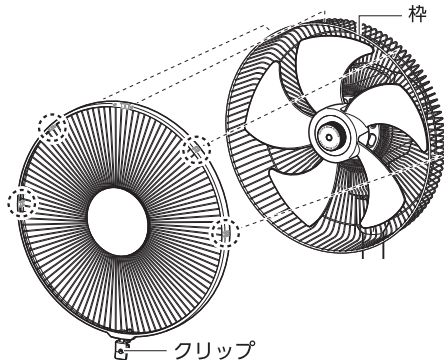
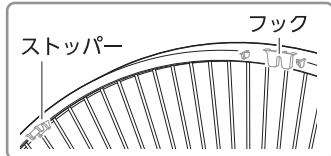
注意

スピナーの締め付けが緩いまま使用すると、本体が振動したり、音が大きくなったりして、破損や故障の原因になります。

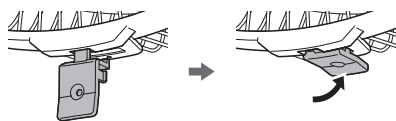


- ⑤ 前ガードを取り付けます。

- 前ガードのフックを真上に向けて後ろガードに引っ掛け、ストッパー（4か所）を枠にはめ込んでください。



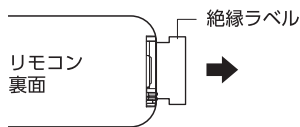
- クリップを「パチン」と音がするまで押し込んでください。



リモコンについて

工場出荷の段階でボタン電池が装着されています。
ご使用前に絶縁ラベルを引き抜いてください。

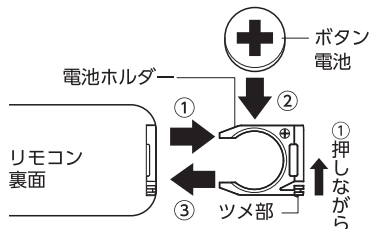
※製品に付属しているボタン電池はテスト用のため、早く消耗する場合があります。



■ ボタン電池の交換方法

使用するボタン電池は「CR2025/3V」です。

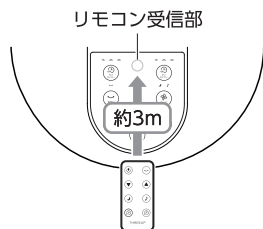
- ① リモコン裏面の電池ホルダーのツメ部を、矢印方向に押しながら引き抜きます。
- ② 新しいボタン電池の【+】を上にして装着します。
- ③ 電池ホルダーを「カチッ」と音がするまで、はめ込みます。



■ 操作範囲

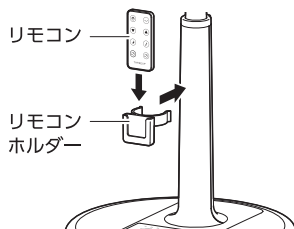
リモコンの送信部をリモコン受信部に向けて使用してください。操作距離は直線で約3mです。

テレビやオーディオのリモコン等を使用した際、まれに本体が反応して動作することがあります。これは本製品と同じ周波数を利用している機器で起きる現象です。そのような場合は本体に影響しない場所でご使用ください。



■ 収納について

リモコンホルダーを支柱に取り付けて、リモコンを収納してください。



設置について

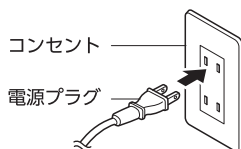
本体は障害物がなく、安定した水平な場所に設置してください。

- 不安定な場所や棚の上への設置は、転倒や落下によるケガや破損の原因になります。
- カーテンなどの近くや毛足の長いじゅうたんなどの上に設置すると、巻き込みによる事故や転倒、破損の原因になります。

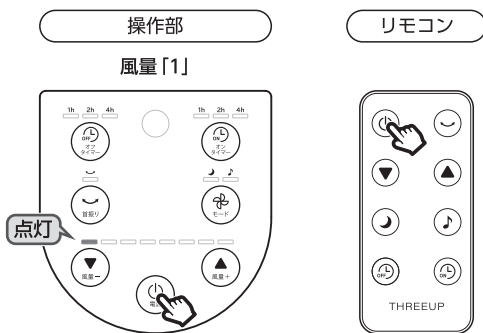
ご使用の前に

運転する

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。
“ピーッ”と電子音が鳴って、全ての運転ランプが点灯したあとに消灯し、待機状態となります。



- ② 操作部またはリモコンの『電源』ボタンを押します。
『風量』ランプ「1」が点灯し、風量「1」で運転を開始します。
- 操作部とリモコンのボタン操作時は、“ピーッ”と電子音が鳴ります。
 - お好みで風量の切り替え、左右首振り設定、オン/オフタイマー設定、リズムモード設定、おやすみモード設定を行ってください。



停止する

運転中に操作部またはリモコンの『電源』ボタンを押します。
“ピーッ”と電子音が鳴って全ての運転ランプが消灯し、運転を停止します。
ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

メモリー機能

一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。
(オフタイマー設定は除く)

初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときは、風量「1」で運転を開始します。

減灯機能

運転ランプは最後の操作から約1分後に減灯します。

自動オフタイマー機能

電源の切り忘れを防止するため、最後の操作から約10時間後に自動停止します。

風量を切り替える

送風運転の風量を「1」～「8」の8段階で切り替えることができます。

運転中に操作部またはリモコンを操作して風量を切り替えます。
風量の設定に合わせて点灯する『風量』ランプが切り替わります。

●本体操作

風量を強くしたいときは、『風量+』ボタンを繰り返し押します。

風量を弱くしたいときは、『風量-』ボタンを繰り返し押します。

●リモコン操作

風量を強くしたいときは、『風量』ボタン「▲」を繰り返し押します。

風量を弱くしたいときは、『風量』ボタン「▼」を繰り返し押します。

風量「1」のときに『風量-』ボタン/『風量』ボタン「▼」を押したときと、風量「8」のときに『風量+』ボタン/『風量』ボタン「▲」を押したときは、風量は切り替わらないで“ピピピッ”と電子音が鳴ります。

操作部



リモコン

弱くする



強くする



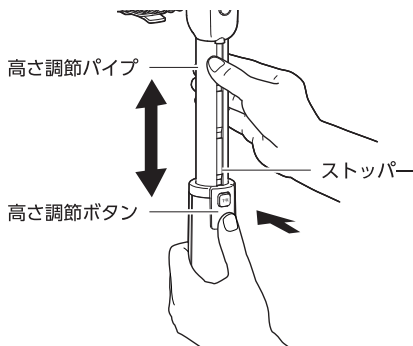
高さを調節する

- 『高さ調節』ボタンを押しながら高さ調節パイプを上げると、固定が解除されて高さの調節ができます。

『高さ調節』ボタンを放して、ストッパーで固定される位置で調節してください。

- 高さを下げるときは、『高さ調節』ボタンを押さなくても調節できます。

高さは4段階で調節できます。



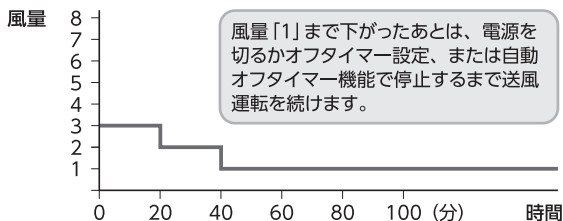
ご使用方法

おやすみモードを使う

設定した風量から約20分経過するたびに風量「1」まで1段階ずつ下がりながら運転します。

■ おやすみモードの動作内容

- 例：風量「3」でおやすみモードを設定した場合



メモ 風量が変わるたびに点灯する『風量』ランプが切り替わります。

■ おやすみモードを設定する

- ①操作部またはリモコンの『風量』ボタンを押して、おやすみモード開始時の風量を設定します。
- ②操作部の『モード』ボタンまたはリモコンの『おやすみ』ボタンを押して、おやすみモードを設定します。

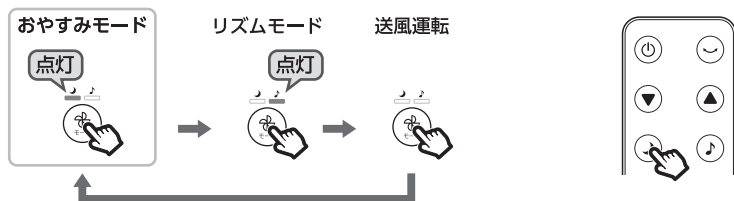
●本体操作

『おやすみ』ランプが点灯するまで、『モード』ボタンを繰り返し押します。

運転モードは下図の順で切り替わります。

●リモコン操作

『おやすみ』ボタンを押すと『おやすみ』ランプが点灯します。



■ おやすみモードを解除する

●本体操作

『おやすみ』ランプが消灯するまで『モード』ボタンを繰り返し押して、送風運転に切り替えます。

●リモコン操作

もう一度『おやすみ』ボタンを押すと『おやすみ』ランプが消灯して、送風運転に切り替わります。

解除後の送風運転の風量は、おやすみモードの設定前と同じになります。

リズムモードを使う

風量が一定の周期で切り替わりながら運転します。

■ リズムモードの動作内容

リズムモードは3段階あり、開始する前の風量設定により、リズムモードの「強」「中」「弱」が切り替わります。

- ◎風量設定「7」、「8」で開始すると … リズムモード「強」
- ◎風量設定「4」、「5」、「6」で開始すると … リズムモード「中」
- ◎風量設定「1」、「2」、「3」で開始すると … リズムモード「弱」

■ リズムモードを設定する

- ①操作部またはリモコンの『風量』ボタンを押して、リズムモード開始時の風量を設定します。
- ②操作部の『モード』ボタンまたはリモコンの『リズム』ボタンを押して、リズムモードを設定します。

●本体操作

『リズム』ランプが点灯するまで、『モード』ボタンを繰り返し押します。

運転モードは下図の順で切り替わります。

●リモコン操作

『リズム』ボタンを押すと『リズム』ランプが点灯します。

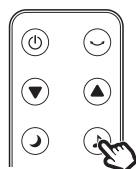
おやすみモード



リズムモード



送風運転



■ リズムモードを解除する

●本体操作

もう一度『モード』ボタンを押すと『リズム』ランプが消灯して、送風運転に切り替わります。

●リモコン操作

もう一度『リズム』ボタンを押すと『リズム』ランプが消灯して、送風運転に切り替わります。

解除後の送風運転の風量は、リズムモードの設定前と同じになります。

ご使用方法

オフタイマーを使う

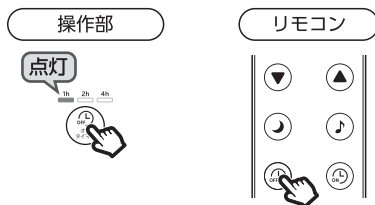
1～7時間(1時間単位)の範囲で設定した時間が経過すると自動で運転を停止します。

■ オフタイマーを設定する

運転中に操作部またはリモコンの『オフタイマー』ボタンを押すと、『オフタイマー』ランプ「1h」が点灯します。

『オフタイマー』ボタンを押すたびに設定時間が切り替わり、設定にあわせて点灯する『オフタイマー』ランプも切り替わります。

時間経過にあわせて点灯する『オフタイマー』ランプが切り替わり、残時間を表示します。



各設定時間の『オフタイマー』ランプの点灯状態



■ オフタイマーを解除する

『オフタイマー』ランプが消灯するまで、操作部またはリモコンの『オフタイマー』ボタンを繰り返し押します。

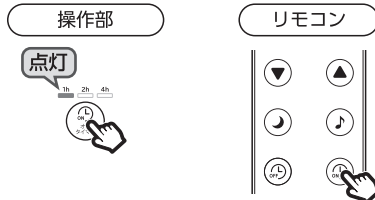
オンタイマーを使う

1～7時間(1時間単位)の範囲で設定した時間が経過すると自動で運転を開始します。

■ オンタイマーを設定する

① 待機状態のときに操作部またはリモコンの『オンタイマー』ボタンを押すと、『オンタイマー』ランプ「1h」が点灯します。

運転停止前に設定していた運転ランプも点灯します。



- ② 『オンタイマー』ボタンを押すたびに設定時間が切り替わり、設定にあわせて点灯する『オンタイマー』ランプも切り替わります。



- ③ 時間を設定したあと、約30秒経過するとオンタイマーが設定され、『オンタイマー』ランプ以外の運転ランプが消灯します。

■ 運転開始時の動作を変更する

操作部またはリモコンの『オンタイマー』ボタンを押すと、設定されている運転ランプが点灯し、運転開始時の動作設定を変更することができます。

最後の操作から約30秒後に『オンタイマー』ランプ以外の運転ランプが消灯すると、設定完了となります。

■ オンタイマーを解除する

- 操作部またはリモコンの『オンタイマー』ボタンを、『オンタイマー』ランプが消灯するまで繰り返し押し押しすと待機状態になります。
- 操作部またはリモコンの『電源』ボタンを押すと、『オンタイマー』ランプが消灯して運転を開始します。

■ オフタイマーとオンタイマーを同時に設定する

オフタイマーとオンタイマーは同時に設定でき、設定順によって次のように作動します。

- 運転中にオフタイマーを設定したあと、オンタイマーを設定した場合
 - ① オフタイマーで設定した時間で運転が停止すると、オンタイマーで設定した時間のカウンタダウが開始されます。
 - ② オンタイマーで設定した時間が経過すると運転を開始します。
- 待機状態でオンタイマーを設定をしたあと、オフタイマーを設定した場合
 - ① オンタイマーで設定した時間で運転が開始すると、オフタイマーで設定した時間のカウンタダウが開始されます。
 - ② オフタイマーで設定した時間が経過すると運転を停止します。

ご使用方法

首振り運転をする

- 上下方向へ約30°の範囲で調節できます。(手動)
- 左右方向へ約90°の範囲で首振り運転します。(自動)

■ 左右方向の首振り (自動)

●開始する

運転中に操作部またはリモコンの『左右首振り』ボタンを押します。

『左右首振り』ランプが点灯して、左右方向に首振り運転を開始します。

●停止する

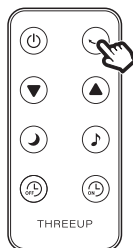
もう一度操作部またはリモコンの『左右首振り』ボタンを押します。

『左右首振り』ランプが消灯して、首振り運転を停止します。

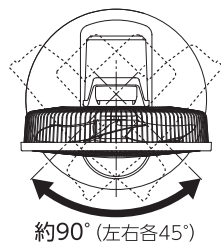
操作部



リモコン



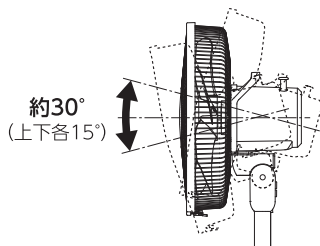
左右方向 可動範囲



■ 上下方向の首振り (手動)

ガード部を持ち、手動で角度を調節します。

上下方向 可動範囲



⚠ 注意

禁止 左右方向の首振りは手動で調節しないでください。
設定した角度で動かなくなるなど故障の原因になります。

お手入れと保管方法

⚠ 警告



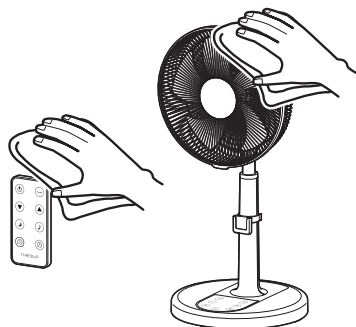
必ず守る

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電やケガの原因になります。

■ 本体とリモコンのお手入れ

ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤に浸してよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取ってください。そのあと乾いた柔らかい布で拭いて、しっかりと乾かしてください。

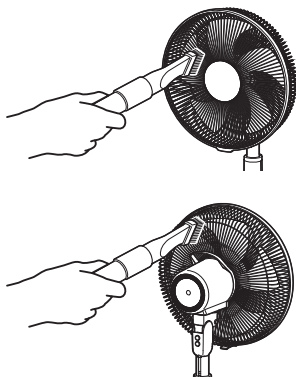
- お手入れには塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
- リモコンのボタン電池は取り外してください。



■ 前ガード、後ろガード、羽根のお手入れ

- ガードのすき間にたまったホコリは掃除機で吸い取ってください。
- 汚れがひどい場合は、P.6～7「■ 本体を組み立てる」の逆の手順で前ガードや羽根などを取り外し、本体と同様のお手入れをしてください。

ホコリがたまった状態でご使用を続けると、モーターの過熱や異常音などの原因になります。定期的に点検、お手入れをしてください。

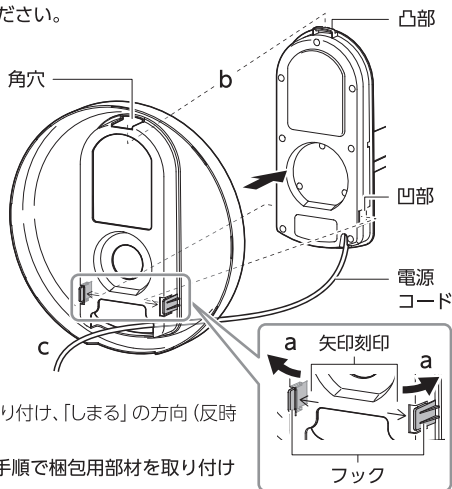


■ 保管方法

- 組立状態で保管する
本体にポリ袋をかぶせて直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管してください。

- お買い上げ時の箱に入れて保管する
次の手順で各部品を取り外して収納してください。

- ① スタンドを台座から取り外します。
 - a. フック（左右2か所）を開きながら、スタンドの凹部側を引き抜いてください。
 - b. スタンドの凸部を角穴から引き抜いてください。
 - c. 電源コードを台座から引き抜いてください。
- ② P. 6～7【**■ 本体を組み立てる**】の逆の手順（⑤～③）で各部品を取り外します。
- ③ 固定ナットとスピナーをモーター部に取り付けます。
 - a. 固定ナットをネジ部に取り付け、「しまる」の方向（時計回り）に締め付けてください。
 - b. スピナーをモーター軸のネジ部に取り付け、「しまる」の方向（反時計回り）に締め付けてください。
- ④ P. 6【**■ 梱包用部材を取り外す**】の逆の手順で梱包用部材を取り付けます。



- リモコンからボタン電池を抜いて、ボタン電池の電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼って保管してください。

長期使用製品についてのご注意

長期間の使用により下記のような症状が見られた場合は、すぐに電源を切って、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはスリーアップカスタマーサポートにご相談ください。

- スイッチを入れてもファンが回らない。
- ファンが回っても、回転が不規則に変化する。
- 回転するときに異常な音や振動がする。
- モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがしたりする。
- 電源コードが折れ曲がったり、溶融（変形）したりしている。
- 電源コードに触れると、電源が切れたり入ったりする。

設計上の標準使用期間

製品本体に表示してある【設計上の標準使用期間】は右記に示す標準的な使用条件の下で使用した場合に安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。「標準的な使用条件を超えて用いた場合に、標準使用期間よりも短い期間で経年劣化による発火やケガなどの事故に至る可能性があります。」

製品の故障や劣化は、この条件以外でもさまざまな要因に影響を受けます。標準使用期間に達しない場合でも、上記のような異常がみられた場合にはすぐにご使用をやめ、販売店もしくは「スリーアップカスタマーサポート」にご相談ください。また、「設計上の標準使用期間」は「保証期間」とは違い、本製品の無償交換を保証する期間ではありません。保証内容および期間につきましては本書に添付の「保証書」に記載しています。

環境条件	電圧	AC100V
	周波数	50/60Hz
	温度	30℃
	湿度	65%
負荷条件	設置	本書に基づく設置
	運転時間	本製品の最大定格での運転
想定時間	運転時間	8h/日
	運転回数	5回/日
	運転日数	110日/年
	スイッチ操作回数	550回/年

【製造年】本体に西暦4桁で表示してあります。



【設計上の標準使用期間】 6年

設計上の標準使用期間を超えて使用されると、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至るおそれがあります。

故障かな?と思ったら

スリーアップカスタマーサポートにご連絡いただく前に、下記項目の確認をお願いいたします。

症 状	考えられる原因	対処方法
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが外れている。 電源が入っていない。 通電していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに接続してください。 操作部またはリモコンの『電源』ボタンを押して運転を開始してください。 ブレーカーが落ちていないか確認してください。
運転が停止した	<ul style="list-style-type: none"> オフタイマーを設定している。 自動オフタイマーが作動した。 	<ul style="list-style-type: none"> オフタイマーを設定すると、設定時間になると自動的に運転を停止します。設定を解除するか、設定時間を変更してください。 約10時間、操作をしないでいると、自動オフタイマーが作動して電源が切れます。引き続きご使用になる場合は、『電源』ボタンを押して運転を再開してください。
運転音が大きい	<ul style="list-style-type: none"> 不安定な場所に設置している。 羽根にホコリが付着している。 前ガードや後ろガード、羽根、スピナーが正しく取り付けられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 水平で安定した場所に設置してください。 「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。 「お手入れと保管方法」に従って、正しく取り付けてください。
左右首振り時に音がする	<ul style="list-style-type: none"> 首振り運転時にモーターの音が大きくなることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> 首振りモーター特有の音で、故障ではありません。
リモコンで動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ボタン電池が消耗している。 ボタン電池の入れかた(+/-)の向きが間違っている。 リモコンの送信部をリモコン受信部に向けていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいボタン電池に交換してください。 ボタン電池を正しく入れ直してください。 リモコンの送信部をリモコン受信部に向けてください。また、誤作動などが発生する場合は、本体の設置場所を変更してください。

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。